

6月

- ・人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』が開場した。
- ・空き家空き地バンクを開設した。

◆サッカー・ワールドカップロシア大会が開催され、日本はベスト8を逃すも、試合内容は高い評価を得た。

- ・姉妹都市のスプリングフィールド市長が足利市を訪問し、市議会本会議場で本市以外の市長として初めてスピーチを行った。

7月

- ・プロモーション動画『ありのままの足利を。』を公開した。
- ・市内で11日連続猛暑日を記録した。

10月

- ・足利灯り物語『夜の足利☆ナイトウォーク』を開催した。
- ・史跡足利学校で企画展『元号』を開催し、期間中に3万2,000人を超える入場者があった。
- ・『足利学び舎観光ロゲイニング』を初開催した。
- ・あしかが映像まつり『聖地！西高学園祭』を開催し、3,200人が来場した。

11月

- ・わたらせテレビが開局20周年を迎えた。
- ・史跡足利学校 大成殿の改修工事が始まった。
- ・白旗橋の架け替え工事が完了した。

12月

- ・市議会のインターネット中継が始まった。
- ・「ひと」と「ひと」が輝くまちを宣言した。

2019年(平成31年、令和元年)

1月

- ・市が大型公共施設更新に向けた財政指針を公表した。

2月

- ・あしかが映像まつり『まちなかシネマDAYS』が開催され、3日間で延べ約1,250人が来場した。
- ・商工会議所友愛会館で刀剣展『堀川國廣とその高弟』が開催された。
- ・『あしかが輝き大使』に中華料理シェフ・藪崎友宏さんを委嘱した。
- ・NHKホールで行われた『第19回地域伝統芸能まつり』に八木節が出演した。

3月

- ・小俣最終処分場の訴訟が和解した。
- ・新医師会館が建設され、同建物に保健センターが移転した。

5月

◆改元し『令和』となった。

- ・改元日の5月1日の婚姻届提出が50件を超えた。
- ・40年ぶりに国・県・市合同で利根川水系連合・総合水防演習が実施された。

- ・旧足利西高校で撮影した作品が100作を超えた。

6月

- ・足利夏まつり(足利織姫神社ナイトウェディング・七夕まつり)が『第一回恋人の聖地地域活性化大賞 審査員特別賞』を受賞した。
- ・未来を担う子どもたちのために『足利市こども夢基金』を創設した。

7月

- ・2022いちご一会とちぎ国体の会場となるビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

8月

- ・足利高校、足利女子高校統合に際し、市民会館用地を提供することを発表した。
- ・市議会がタブレット端末を導入した。

9月

- ・友好都市の済寧市(中国)と友好都市締結35周年を迎えた。
- ・五十部町競馬場跡地に渋谷スクランブル交差点のオープンセットが建設された。
- ・35回目の節目を迎えた薪能が記念事業として足利薪能と足利薪狂言を2夜連続で開催された。
- ・あがた駅南産業団地の造成が完了した。

10月

- ・朝倉・福富緑地『わたらせ健幸緑地』の供用を開始した。
- ・令和元年東日本台風が各地を襲い、本市も甚大な被害を受けた(被害総額88億円超、死者1名、中等症2名、住家被害845件)。
- ・水道庁舎が県庁足利庁舎に移転した。
- ・『全国足利氏ゆかりの会』総会が足利義兼公没後820年記念として開催された。

2020年(令和2年)

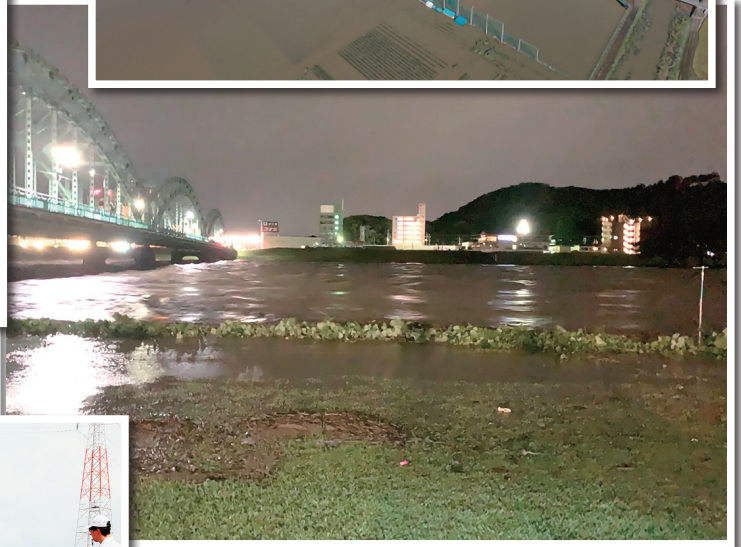
1月

- ・市民会館を取り壊し、跡地を足利高等学校・足利女子高等学校新校舎整備用地とすることで県と基本合意を締結した。
- ・第10回ロケーションジャパン大賞でドラマ『今日から俺は!!』と本市の取り組みが特別賞を受賞した。



◀ 令和2年10月撮影・あがた駅南産業団地。

▼ 令和元年東日本台風の被害の様子。



◀ 令和元年7月・ビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

▼ 令和元年9月・足利薪能、足利薪狂言▼



2月

◆全世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振り始めた。

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。
- ・プレミアム刀剣展『冬の國廣と一門』を開催した。

3月

- ・総合運動場陸上競技場の改修工事が完了した。
- ・県道名草小俣線小俣立体の供用を開始した。

4月

◆新型インフルエンザ等対策特別措置法(いわゆる新型コロナウイルス特措法)に基づく緊急事態宣言が発令された。

- ・スマートフォンアプリを活用した健幸マイレージ事業『足すと』が始動した。
- ・市民活動センターが生涯学習センターへ移転した。

5月

- ・市道鹿島山下通り(山前アンダー)が開通した。

6月

- ・足利市医師会によるPCR検査センターが開設された。

7月

- ・総合運動場硬式野球場の改修工事が竣工した。
- ・中橋の架け替え方針が決定された。

8月

- ・史跡足利学校大成殿『平成・令和の大修理』が完了した。

10月

- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結30周年記念式典をオンラインで開催した。

11月

- ・足利市自治会長連絡協議会が『設立60周年記念式』を開催した。
- ・県知事選挙で、コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)に期日前投票所を初開設した。

2021年(令和3年)

1月

◆国の新型コロナウイルス特別措置法に基づく2回目の緊急事態宣言が発出され、栃木県も対象区域に追加された。

- ・史跡足利学校席主に五味文彦さんが就任した。
- ・市に『新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム』が設置された。
- ・成人式が新型コロナウイルス感染予防のため中止され、10月31日に延期された。
- ・市制100周年記念NHKのど自慢が新型コロナウイルス

感染予防のため中止された。

- ・地元の歴史を盛り込んだ市制100周年記念『歴史すてろく』が全戸配布された。

- ・市制100周年記念企画展『足利市の軌跡』が小俣町ふるさと学習・資料館で開催された。

- ・市制100周年記念『みんなの両毛線フェスタ!』がJR足利駅構内で開催された。

- ・中橋架け替えに向けた都市計画法に基づく公聴会が開催された。

- ・鎧年越が新型コロナウイルス感染予防のため中止された。

2月

- ・新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった市民を支援するため、市が日用品を自宅に届ける取り組みを開始した。

- ・松田川の水質改善値が全国2,572地点中第1位となった。

- ・新型コロナウイルスのワクチン保管用の超低温冷凍庫が国から市に2台配置された。

- ・市が令和元年に発生した台風19号の被災状況や今後の取り組み等をまとめた『令和元年東日本台風 足利市の記録』を発行した。

- ・新型コロナウイルスの影響でテレワークが推奨される中、市の『足利市宿泊施設活用テレワーク促進実証事業』がスタートした。

- ・足利市民会館での最後のNHK交響楽団(N響)の定期演奏会が開催された。

- ・西宮林野火災が発生し、県内外の消防職員や自衛隊ヘリコプター、県防災ヘリコプターと連携し消火活動を行ったが、167ヘクタールを焼失した(避難勧告305世帯、被害総額約3,700万円)。

- ・東幸楽荘で新型コロナワクチン接種の現地演習を行った。

3月

- ・水道供給90周年記念『足利の自然水』を販売した。

- ・医療従事者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種が開始された。

- ・コロナ禍で苦しむ市内飲食店を支援するため、足利清風高校の生徒が発案し、キッチンカー4店舗を校内に招待し、生徒400人と教職員が丼物やデザートなどを購入した。

- ・キッズピアあしかがの来場者が100万人を超えた。

- ・消防本部の新庁舎が完成した。

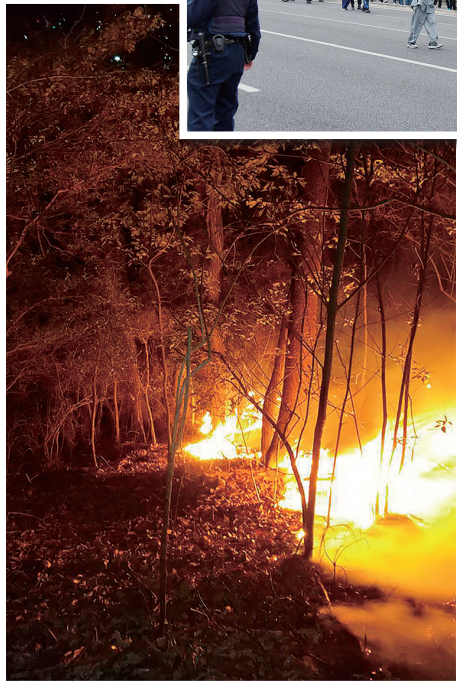
▼令和3年3月・聖火リレーの様子。



▼令和3年1月・文化財防火デーにともない、史跡足利学校で放水訓練を行った。



▲令和3年2月・新型コロナワクチン接種実地演習の様子。



◀令和3年2月・西宮林野火災の様子。



◀▲令和3年4月・足利灯り物語。



・県内の東京2020オリンピック聖火リレーが本市を皮切りに開催された。

4月

- ・名草保育所をきた保育所に統合した。
- ・市が行政手続1,803件の押印を廃止した。
- ・市が無料通信アプリ『LINE』の公式アカウントを運用した市政情報の発信を開始した。
- ・あしかがフラワーパークの『大藤まつり』が2年ぶりに開催された。
- ・高齢者施設入所者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種を開始した。

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う3回目の緊急事態宣言が発令された。

5月

- ・75歳以上の方向けの新型コロナウイルスのワクチン集団接種を開始した。
- ・歌手の森高千里さんのコンサートが8年ぶりに市民会館で開催された。

6月

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、足利花火大会が2年連続で中止となった。
- ・全足利が社会人野球日本選手権大会に初出場した。
- ・市民会館が55年の歴史に幕を閉じた。

7月

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う4回目の緊急事態宣言が発令された。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。



▲令和3年5月撮影・新消防庁舎・中央消防署。



▲令和3年6月・監督を胴上げする全足利の選手たち。



▲市民会館大ホールと緞帳。

▼令和3年1月・足利の街並みを撮影した航空写真。



